

美術科学習指導案

単元名：

「長野駅前にあったらいいマンホール～北信のよさを宣伝するマンホールデザイン～」

(全9時間扱い中 第5時)

授業日時 2019年6月28日(金)第6校時

授業学級 1年B組

授業会場 美術室

授業者

指導者

(1)ねらい

ポスターカラーを使って、ムラなく、はみ出さず平塗りをすることができる。

(2)授業のポイント

- ・セル画シートと折り紙を用いて、子ども達が配色計画を練った。
- ・筆の動かし方や混ぜる水の量に気を付けながら、ワークシートに印刷された図形に、ムラなくはみ出しなく塗る。

(3)展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 学習の見通しもつ。	◇生徒を前に集め、教師による参考作品二枚を掲示し比較することによって「ムラ」、「はみだし」が無い方が綺麗に見えることを確認し、学習問題を設定する。	15
	【学習問題】どのようにしたらムラなく、はみ出さず塗ることができるだろうか。		
		◇「ムラをなくすポイント」と、「はみ出さないポイント」は実演のタイミングに合わせ、フラッシュカードで黒板に掲示し、「絵の具の溶き方」、「画面が汚れないようにする工夫など」の細かいポイントは話しながら実演を行う。 ★書画カメラ ◇実際の中濃ソースと比べ、混ぜる水の量を確認する。 ◇一通りやり方の実演を終えたところで、再度ポイントを確認し、学習課題を設定する。	
	【学習課題】ムラなく、はみ出さず塗るための2つのポイントを基に塗る練習をしてみよう。		
展開	3. ワークシートを基に活動する。	◇ワークシートを配布し練習を始めるように声掛けをする。 その際、白色とレモンイエローは、ムラの確認ができないため使わないことを伝える。 ◇実演での指導内容をもう一度確認したい生徒に、資料集P60にポスターカラーカラーの説明が載っているので参考にするように促す。 ◇うまく中濃ソースのとりみができない生徒に、原因は何かを考え、筆で少しずつ水を入れる方法を伝える。 ◇薄塗になってムラができてしまった生徒に、新しく絵の具を溶き上から塗り直せば良いことを伝える。 ◇はみださずに描くの困っている生徒に、力の入れ具合や、周りを囲む時は、一筆書きをする必要はなく筆をこまめに離しても良いことを伝える。 ◇適当に縦横に塗るのではなく、ムラを消すことを意識し、縦と横を重ねて塗ることがポイントだと伝える。	23
	4. 友の成果を全体で共有する。	【評価】絵の具を溶く際の適切な水の量を知り、筆の動かし方、用いる毛の部分などを場面に応じ使い分けて塗ることができている。 ◇ムラなく、はみ出さず平塗りが出来た生徒のワークシートをテレビ画面に映し出し、上手くできるようになった所、次回からのマンホールの着色に活かせるなどと思った所を発表するように促す。 ★タブレット端末、テレビモニター。	8
終末	5. 学習を振り返り、自己評価する。	◇本時の学習を振り返り、感想、自己評価をワークシートに記入するように促す。	5